

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成28年9月23日 (2016.9.23)

【公開番号】特開2015-138864(P2015-138864A)

【公開日】平成27年7月30日 (2015.7.30)

【年通号数】公開・登録公報2015-048

【出願番号】特願2014-9218(P2014-9218)

【国際特許分類】

H 0 1 L 31/042 (2014.01)

H 0 2 J 13/00 (2006.01)

H 0 2 J 3/00 (2006.01)

H 0 1 L 31/04 (2014.01)

【F I】

H 0 1 L 31/04 R

H 0 2 J 13/00 3 1 1 R

H 0 2 J 3/00 K

H 0 1 L 31/04 K

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月4日 (2016.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

日射計測値を元に太陽光発電装置の出力を推定する太陽光発電出力推定方法であって、  
日射計設置点情報と日射計計測値および太陽光発電装置設置点情報から、太陽光発電装置設置点における日射量を推定する第 1 の推定手法と、該第 1 の推定手法と異なる手法で太陽光発電装置設置点における日射量を推定する第 2 の推定手法と、推定された日射量と当該太陽光発電装置の定格容量から太陽光発電装置の出力を推定する出力推定手法と、第 1 と第 2 の推定手法の差から太陽光発電装置出力の推定誤差を求める誤差推定手法を備えることを特徴とする太陽光発電出力推定方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の太陽光発電出力推定方法であって、  
前記太陽光発電装置の出力を推定する第 1 または第 2 の推定手法は、線形補完方式または代表値方式のいずれかであることを特徴とする太陽光発電出力推定方法。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の太陽光発電出力推定方法であって、  
日射量推定値および日射量推定誤差から、日射量変動量推定値および日射量変動量推定誤差を求めることを特徴とする太陽光発電出力推定方法。

【請求項 4】

日射計測値を元に太陽光発電装置の出力を推定する太陽光発電出力推定装置であって、  
日射計設置点情報と日射計計測値および太陽光発電装置設置点情報から、太陽光発電装置設置点における日射量を推定する第 1 の推定手段と、該第 1 の推定手法と異なる手法で太陽光発電装置設置点における日射量を推定する第 2 の推定手段と、推定された日射量と当該太陽光発電装置の定格容量から太陽光発電装置の出力を推定する出力推定手段と、第 1 と第 2 の推定手段の差から太陽光発電装置出力の推定誤差を求める誤差推定手段を備え

ることを特徴とする太陽光発電出力推定装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の太陽光発電出力推定装置であって、

前記太陽光発電装置の出力を推定する第 1 または第 2 の推定手段は、線形補完方式または代表値方式のいずれかであることを特徴とする太陽光発電出力推定装置。

【請求項 6】

請求項 4 または請求項 5 に記載の太陽光発電出力推定装置であって、

日射量推定値および日射量推定誤差から、日射量変動量推定値および日射量変動量推定誤差を求めることを特徴とする太陽光発電出力推定装置。

【請求項 7】

同一の太陽光発電装置について、その出力を異なる推定手法により推定した推定出力と、その差分から求めた当該太陽光発電装置の出力推定誤差とを、電力系統の制御に使用することを特徴とする電力系統監視装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の電力系統監視装置であって、

電力系統監視装置は、前記請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の太陽光発電出力推定装置から推定出力と推定出力誤差を得ることを特徴とする電力系統監視装置。